

1. 活動報告（事務局 記）

—4月5日（土）26年度活動の総会が行われました。20名の参加でした。

主だった決議を列記します。

① 25年度の行事結果と会計収支了承されました。

イ、収支残高が昨年度より多いので、活動にもう少し拠出したらとの意見に対して82,000円は定期貯金の切り崩しであって繰越が多いわけではない！と説明し了解を得ました。

ロ、稲作体験で事前の準備は大変であり、特にトラクターは一回の油を500円値上げし1,500円にする事になりました。

② 26年度活動計画で一部変更で決議されました。

イ、午後継続活動日4/19・7/19・9/20は手弁当持参

ロ、7/19は親子自然観察隊・生物多様性応援団と協働活動

ハ、8/2フジときらら子どもエコクラブ活動支援と兼ねる

③ 傷害保険の重機対象保険について再度問い合わせ、今まで通り入会または他保険を探す事になりました。

④ 退会者・入会者の紹介は名簿参照

⑤ 会報の投稿が少ないため多くの会員からお願いします。

—4月19日（土）親子自然観察隊結隊式後フィールドにて「食べられる野草」で野草の勉強会を行い採取し、食べられる野草のテンプラ・豚汁・蒸餅等にして試食しました。

つくる会世話人24名、親子自然観察隊6親隊員と9名の子隊員計39名の観察会でした。午後はつくる会24名による①止水池エコアップ②散策道の草刈りを行いました。（内、山大応援団3名）

そのほか岬の歴史探索会4名の方がビオトープにおいてになり「食べられる野草」の試食会にも参画いただきました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

宇部市原校区 室重自治会連合会長 {兼梅田川蛸の会責任者}

市民環境部原市民センター所長 藤田さま

4月23日 ご案内いたしました。蛸の時期にご案内予定

◎行 事

—5月3日（土）維持活動（エコアップ・修復作業）

—5月17日（土）親子自然観察隊（野鳥観察）

3. 来訪者の声

- 4月2日(水) タニシ・おたまじゃくし・エビ・鳥をみました。にいちちゃんとじいちゃんとぼくでいきました。ひこうきぐもをみました。(川上小、三隅駿)
- 4月19日(土) ビオトープでの料理ごちそうさまでした。素朴な味がたまらないです。(史跡めぐり一同、5名)

4. 会員の声【 二俣瀬夢ロマン隊—続報 】 (原田満洲夫 記)

我々山城探索会(二俣瀬夢ロマン隊)は以前にも活動の報告をしましたが、いよいよ佳境に入ってきてまいりました。以前から第2の候補地木田の日吉神社北側に位置する標高74mの山頂とその手前に68mの丘、更には主峰南側に人工的に平坦にされた場所を確認した。現在歯朶と小さい木々を排除しそれらしい骨格が見え始めてきた。ここから眺める旧山陽道は、周防から攻めて来る敵を最強に受け止められる場所であると判断できる。眼下には急流なる厚東川があり、更に急こう配のこの山は防御にはもってこいの場所である。……と夢ロマン隊隊員の甘い考えであろうか？。

吉見家11代当主「吉見正頼」の居城 歯朶木ノ丸山城 長門の國厚狭郡木田村と古文書「御両国故城跡記」から見つけ早4年が経過した。残るは証拠となる戦国時代の山城の形態である①土塁 ②掘割 ③馬ばしり・犬ばしり ④トイレ跡 ⑤井戸跡 ⑥建物の礎石 ⑦生活用具の破片等々の調査発見である。これらの一つでも発見できれば念願の二俣瀬に城跡として初めて公開できる。ビオトープの活動と合わせて私の夢である。

5. 親子自然観察隊 (食べられる野草) (管 哲郎 記)

今年度も「親子自然観察隊」が始動し、加入された9家族の内6家族が出席し、二俣瀬ふれあいセンターにて結隊式を行いました。会長・隊長の挨拶の後、ビオトープでの注意事項などを説明し、会員と隊員の自己紹介も行い、ビオトープへ移動しました。第1回目の観察会は「食べられる野草」なので、採集可能な野草の説明を北村会員に行ってもらい、それぞれの場所で採集を行ってもらいました。東屋では松本会員を中心に野草のテンプラが出来よう準備をしてもらいました。

まずタケノコ隊が編成され、原田副会長に引率され山大生の男子2名を助手に、20本以上の立派なタケノコが掘り取られ、隊員の皆さんや会員への素敵なお土産となりました。

山野草の採集は思い思いに行われましたが、思った以上にバラエティーに富み、いろんな山野草が摘み取られていました。尚、今年も北村会員により、春の七草の実物標本が準備されており、採集作業に大変役に立ちました。事前の準備、ご苦労様でした！

採集した野草の発表を北村会員に行ってもらい、安全を確認しました。

今年も採集された野草の中に毒をもつ「ユリ科・アマドコロ属」アマドコロが1種類数本混じていましたが、幸いにも調理される前に皆で確認し事なきを得ました。～強烈な毒では無いようですが、吐き気などが起こるとされています！～山野草の試食にはくれぐれもご注意を！

天気予報の曇り空とは打って変わり晴天の中、楽しく山野草の観察と採集、草モチや山野草の天ぷらを作り、試食会と昼食を無事終えました。

<採集された山野草>

セリ・ナズナ・オギョウ（ハハコグサ）・ハコベ・ホトケノザ・ヨモギ・スイバ・タンポポ・ワラビ・ゼンマイ・ノビル・ノアザミ・タラ・タケノコ・カラスノエンドウ・オオバコ・タネツケバナ・ヒメウズ・キュウリグサ・ヒメオドリコソウ・トキワハゼ・ツバキの花。

（食べられない野草：アマドコロ・アセビ）



結隊式の様子



現地で野草の説明



採集された山野草の説明



調理された山野草の試食会



掘り取られたタケノコの一部



親子自然観察隊（食べられる野草）に参加した親子の感想

★金子実侑さん

食べられる野草がこんなにあるとは、知りませんでした。私が、一番すごいな—と思ったのは、たらのめです。たらのめの、とうめいの液体がふしぎでした。天ぷらにしたら、やわらかくておいしかったです。

ユキノシタも、パリパリでおいしかったです。ビオトープの次の行事も、参加します。



★相津野々花さん

私は、食べられる野草が、とてもたのしかったです。なぜなら、たけのこを探して、山に行ったり、レンゲやツバキの天ぷらがおしかったです。そのおかげで、友達をつくれたので、よかったです。

★相津さんのお母さん

里山歩き、大変楽しみました。筍掘りも親子共々初めての体験です。子供達の生き生きとした笑顔を見ることができました。また、野草や虫について、興味を持ち質問をする娘の姿。娘の新たな一面を見ることができ、嬉しく思いました。



★下川拓実くん

タケノコ掘り、見つけるところから全部やって大変だったけど楽しかったです。ユキノシタおいしかったです。

★下川航平くん

タケノコ大きいのがいっぱいあってびっくりした。ユキノシタがとてもおいしかった。

★下川くんのお母さん

子どもたちが去年はタケノコの天ぷらしか食べなかったのに、今年はユキノシタにチャレンジして、おいしさに気づいてくれてよかったです。

★阿部真愉さん

わたしは、野草つみに行きました。何故かという、みゆきさんとわたしとお母さんたちと中本さん以外全員が たけのこほりに行ったからです。ぜんまいやタラのめ 色々な野草をとりました。今年はずっと違って天気がよかったので、とても暑かったです。昼ごはんの時色々な野草の天ぷらを食べました。とてもおいしかったです。



★阿部さんのお母さん

久しぶりに訪れた春のビオトープで 360度の自然と美味しい空気と春の味覚を五感で感じる事ができた いい一日でした。美味しい筍の見分け方 初めて知りました。頂いた筍はとても柔らかくて春の味を存分に味わう事ができました。

★藤井美早さん

たけのこが掘れておもしろかった。やごがかえるのをずっと待ってたけど、最後まで見れなかったから、今度見たい。

★藤井さんのお母さん

毎回、たけのこたけのこと楽しみにしていた哲平は、今日はたけのこ掘りよと聞いて大喜びでした。ずっと案内してくださる方にべったりくっついて、大きなたけのこが掘れる度に全部もらってきて、きっとゲットした気分だったんだと思います。



6. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 (管 哲郎 記)

(16) オグマサナエ *Trigomphus ogumai* Asahina

サナエトンボ科 *Gomphidae* Banks <コサナエ属> *Trigomphus* Barteneff

皆さんには全くなじみのないサナエトンボですが、そのはず、県内でもめったに見ることのない春のトンボで、準絶滅危惧種に指定されています。今月4月より羽化が始まります。環境省では絶滅危惧Ⅱ類にランクされ、山口県でも数か所しか確認されていない希少種です。福井県、近畿、東海地方以南四国、九州に分布していますが、四国では徳島県での記録があるのみで、それも現在ではいなくなっているようです。近畿、東海地方以外では棲息地は多くなく局地的とされており、山口県もまさにその通りの状況です。

止水系のトンボで、池などに棲んでおり、あまり植生豊かでない池にも住めるようです。ある程度の水深が必要であると書かれていますが、筆者の確認した池では浅い池でも羽化するのを確認しています。同じ時期に”タベサナエ”というそっくりさんのサナエトンボがおり、良く見間違えてしまいますので要注意です。”タベサナエ”は普通にたくさんいます。とりあえず肩の黒条の中に三ヶ月形の細い筋があれば”オグマサナエ”となります。

4月～6月に見られますが、5月に多く見られます。山口市阿知須、下関市、長門市で棲息を確認していますが、その他の場所では全く姿を見ていません。しかし、絶対的に調査不足であろうと思われます、探せば見つかるかも！これからの課題です。



オグマサナエ (♂)



オグマサナエ (♀)



7. 会よりの連絡事項（事務局より）

(1) 新入会員のお知らせ

氏名 中村恵海香さん 山口大学工学部(阿部真希子会員ご紹介)

若い力と頭脳を大いに期待しております。

(2) 次回活動日はゴールデンウィークの初日となりますが、本格的な草木の繁殖期となりますので、エコアップにフィールドの維持にご協力ください。

(3) 親子自然観察隊の隊員はご希望あれば入隊可能です。次回の野鳥観察からでも問題ありませんのでご紹介ください。

8. 編集後記

今年も親子自然観察隊が始まったが、昨年度は15家族もいた隊員はわずか9家族と少なくなり、他の行事と重なって3家族が欠席となった。寂しいスタートとなったが、昨年6年生が6名もいたため、この子らは中学生となった。このギャップは重いと思った。やはり、何か広報の方法など今一度考えて、広く多くの人に知ってもらうことが大切であると強く感じました。市の公報や宇部日報などの新聞以外にも何か情報を発信しなければいけないのだろう。来た人が「いいよ！」とロコミをしてもらうのが一番だとは思いますが、はたして、そううまく事は進むだろうか。一昨年来ていて、去年はやめていた家族が、また今年もやって来た。やはり子供は来て楽しいのだろう。他の行事との関係や親の都合で来ることが難しい場面もあるだろう。今年1年かけて、どうすれば参加者が増えてくれるか、皆さんで知恵を出し合って考えましょう。もちろん、会員が増えてくれることも一緒です。

（原谷 一誠 記）